

情報端末設置とホームページの開設で、商店街のIT化を推進

伊田商店街振興組合

機関名	伊田商店街振興組合		
所在地	福岡県田川市伊田町12番6号		
電話番号	0947-44-6161		
地域概要	(1)管内人口 5万4千人	(2)管内商店街数	- 商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 7商店街	(2)会員数	159商店
	(3)空店舗率 19%	(4)大型店空き店舗数	1店
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成14年度 活性化対策事業
総事業費

商店街情報等の発信のための情報端末設置、IT講習会などのIT関連事業の実施
8,400千円

【事業実施内容】

1. 背景

田川市は福岡県のほぼ中央、筑豊の東部に位置する三方を山に囲まれた田川盆地の中心都市である。かつては炭鉱で栄え、人口も最も多いときは10万人を超えていた。中心街である伊田、後藤寺と公共施設の集まる中央部を主体に市街地が構成されている。

伊田商店街は買回品を中心としたT字型の地域型商店街であり、アーケードやカラー舗装、駐車場を完備している。ソフト事業としては夏の土曜夜市や中元売出し、年末売出しスタンプ等を実施しているが、なかなか売上アップにはつながらない状況である。

また、5年前より空き店舗対策事業（お休み処・碁会所・地域物産展の整備）を進めているものの、消費低迷、不況のあおりを受けて商店街の大型店である寿屋が倒産閉店し、ますます商業環境の悪化が進行している。

これに対し、地域の人々に広く利用してもらえる多目的スペースを開設し、各種催事や展示販売、ギャラリーとして利用するとともに、商店街における情報の集約化、共有化を図るために本



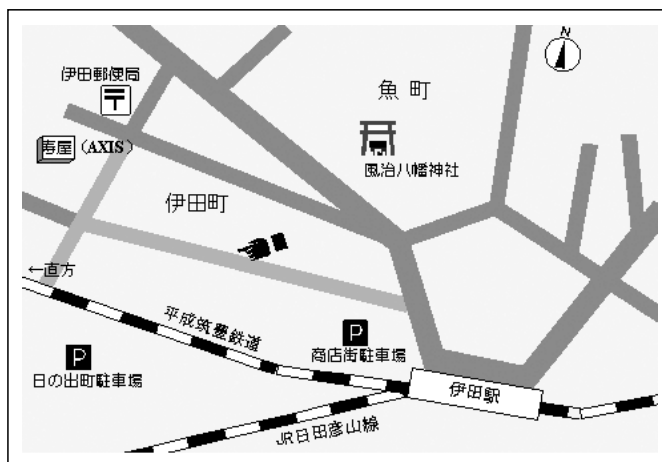
田川市の位置

事業を実施した。

2. 事業内容

高齢者等に対応した宅配サービス事業を視野に入れてホームページを開設した。

また、パソコン普及率、インターネット利用率の低さを鑑み、商店街にスタンドアローン方式で情報発信端末を設置し、商店街独自の情報を発信。子供から高齢者まで誰でも簡単に利用できるようにした。



伊田商店街の地図

(1) ステーション事業

①集客事業

加速するIT化に対応し、集客を図る仕掛け作りを行った。

- ・田川市がすすめているデジタルアーカイブ事業（産炭地の歴史）等の映像をパソコンから映写した。
- ・日立製作所九州支店田川分室、日立電子サービス株、筑豊サービスステーションにパソコンを設置してもらい、簡単なパソコン教育を実施した。また、田川市のホームページも閲覧できるようにした。
- ・NTT飯塚支店の協力により、インターネット高速回線を開設した。
- ・各種情報を大型プロジェクターに映写した。

②IT教育

- ・組合員向けIT講習を実施した。パソコンの基礎知識を習得し、インターネットの有効利用や情報の検索方法を学習した。
- ・小学生対象の講習会を実施した。

(2) 情報発信事業

①商店街情報発信端末コンテンツ計画

特に高齢者に簡単に利用してもらうための操作方法の検討を行った。またコンテンツの充実を図るため、意見交換会を実施した。

②情報端末の名称検討

ステーションに設置した情報端末について、皆に親しまれるようなネーミングの検討を行った。情報端末がタッチパネル式という事から、「いたまち」「IT」「タッチパネル」をもじって「いたっち君」に決定。キャラクターも考案し、伊田商店街振興組合の新キャラクターとした。



伊田商店街ホームページ

伊田商店街振興組合

③情報発信、入手方法の学習

NTT北九州支店の協力を得て、インターネットによる情報発信や、ITをツールとする商店街の活性化策に関する研修を実施した。商店主をはじめとする多くの人々が参加し、ビジネスモデルの構築や集客方法を学習した。

(3) コンテンツの検討事業

①いたっち君の内容検討

- ・開発者と打ち合わせを行い、コンテンツの充実を図った。
- ・商店街内のナビゲーション方法、掲載商品、イベント関連の実施方法等の検討を行った。

②いたっち君に掲載する情報の検討

- ・いたっち君に各商店の情報を掲載するにあたっての検討を行った。
- ・各商店の取材方法、主力商品の掲載方法、商品撮影関係の打ち合わせを行った。

③求人情報の閲覧

- ・ハローワークインターネット求人情報がいたっち君で閲覧できるように厚生労働省ホームページとのリンクを依頼した。

④リンク先の決定

- ・商店街に販売していない商品に関して、リンクの検討を行った。

⑤いたっち君を利用するイベント関連打合せ

- ・くじ引きの電子化等、いたっち君を活用したイベントの検討を行った。

(4) 運用開始

①運用開始時は、各商店街に対し、いたっち君操作方法の説明を行った。

②イベント

- ・年末にはいたっち君を利用する抽選会（デジタル抽選会）のほか、大道芸や物産販売等を実施した。
- ・いたまちステーションにて子供インターネット教室を実施した。また、一般の方向けにはパソコン早打ち大会等のイベントを企画した。

③田川市役所ホームページとの連動

田川市ホームページから伊田商店街の情報を入手できるようにした。

④今後の展開に関する検討

更なる商店街活性化のため、コンテンツ内容の見直しを実施した。

【効 果】

商店街来街者の高齢化が進み、コンピューターを触ったことがない人やインターネットを利用したことがない人が多く、当初は声をかけないと触ってもらえなかったが、子供達は学校での授業等で使用しているため、すぐに対応していた。一般向けにはIT講習会を実施のほか、年末売出し、春の売出しに特売情報や抽選機として活用することで、利用促進を図ることが出来た。

将来的にはタッチパネル、PC、プリンターのリース料及びメンテナンス費用、内容新情報書換費用の問題がある。さらに管理に1人付かなければならないため、継続にかかる事業予算をどう工面するか検討中である。

【課題・反省点】

(1) 特売情報

各商店より2割引や3割引の割引券や目玉商品の協賛を受けて特売情報で店舗をタッチすると、レーザープリンターで瞬時に割引券が印刷されて買い物が出来るようにし、超目玉の商品の提供を受けて特売情報に載せ主婦層の利用促進を図った。

しかしながら商店の積極的参加がないと魅力に乏しく、売れ出すとすぐに載せてほしいとか、企画について聞いてないという声が聞かれるようになった。このため、見本を準備して1軒1軒に説明をして参加を依頼したが、逆に原稿・企画に個性がなくなってしまった。

(2) 商店情報

組合員全店に協力を依頼して店舗情報を収集したが、原稿を集めるときにソフト開発の担当者が回ったところ、お金がかかると思って断った店が半分ほどあった。このため委員会のメンバーが見本を見せて相談に乗り、やっと8割位の店が参加した。

(3) 雇用情報

ハローワークと組んでリアルタイムで就職斡旋情報を提案し、条件等を自分で打ち込むと情報が返ってくるようにした。一方的な情報提供では限界があるため、職業安定所に週1回程度、ステーションに臨時出張所を出してもらえばより効果があったと考えられる。

(4) 商店街地図

商店街の全体を分かりやすくし、場所確認が簡単に出来るようナビシステムをプログラムした。システム的には使い勝手はよかったが、店の協力を得るのが困難であった。田川地域の美味しい店のベストテンを紹介する企画を考えたが、組合員からは無料で情報を載せるのはおかしいという意見が出て、中止になった。

(5) 料理レシピ

今晚の料理としてレシピをプリントして持っていけるようにしているが、四季の料理にしたため、取材と更新のための費用がかかる。今後は八百屋、肉屋等にもレシピを提案してもらい、その店の材料で料理ができるような仕組みを検討したい。

(6) イベント

① イベント情報は田川地域のものを優先していたが、情報数が少なく魅力に欠けるため、福岡県の情報載せることを提案した。しかし、組合員から土日に来街がないのに、県内のイベント情報載せることでますます来街がなくなるのではないかという意見が多く、実現しなかった。将来は商店街だけでなく、地域の物産や名産、チケットの販売が出来るよう、研究中である。

② 以前は、ガラポン抽選機を使っていたため、当たり玉の調整や回している時に余分に玉が出たり、当たりが固まって出たりすることがあったが、パソコンで抽選をすると管理が容易であった。ただし、スイッチを押すだけの抽選方法であるため、物足りないという意見もあった。

【関連URL】

伊田商店街振興組合 <http://homepage1.nifty.com/catshands/itamachi/itamachi.htm>